

地域で取り組む 鳥獣対策



鳥獣対策の一歩目は、鳥獣被害を知ることから

鳥獣被害の最前線は「私たち」
浪江町の鳥獣被害についてご存じでしょうか。鳥獣に関する町への通報はイノシシに次いでニホンザル、中型獣（アライグマ、ハクビシン、タヌキ）の順に多くありました（下表参照）。有害鳥獣は私たちの農作物をはじめとした財産を取りするだけでなく、生活に不安を与える地域課題となっています。

鳥獣被害はなぜおきるのか

イノシシやニホンザルが人里まで出没するのは、山に食べ物がない、住处がないからではありません。

農地や住宅の庭で手軽に「美味しい食べ物を確保できるから」です。鳥獣被害に合う地域は動物たちにとって、美味しい食べ物が簡単に手に入る楽園となっているのです。

鳥獣対策の鍵は「地域の力」

鳥獣被害を低減させるには、「自分の土地は自分で守る」、「地域はみんなで守る」という意識が重要となります。一人ひとりの点の対策が繋がって、線となり、「線と線を繋ぐ」ことで、地域という面での対策となります。

動物たちにとっては、生ごみや放置された柿も作物と区別なく魅力的な「エサ」になります。人にとって価値のある作物だけでなく、地域単位で「エサ」となるものを減らし、動物たちがこの地域では簡単に食べ物が手に入りにくく認識させることが重要となります。

鳥獣対策は主に「**被害防除**」「**環境整備**」「**捕獲**」の3種類に分類され、ここでは、個人でも対策のしやすい「被害防除」「環境整備」について紹介します。



令和3年 鳥獣に関する通報（抜粋）	件数
捕獲要請（イノシシ）	40件
家屋・ほ場・敷地侵入（イノシシ）	6件
ほ場食害・追い払い要請（ニホンザル）	4件
中型獣敷地内侵入、捕獲依頼など	11件

	ニホンザル捕獲頭数	イノシシ捕獲頭数
令和3年	17頭	467頭
令和2年	9頭	468頭
令和元年	0頭	752頭

危機管理意識を高めよう！地域の鳥獣対策を紹介

環境整備

鳥獣被害は突然に



自分にできることから

南相馬市原町区に在住。
浪江町で仕事をしながら、川添にある自家の土地を管理しています。

「山芋の根やチューリップの球根など、仕事で知り合った農家さんから、山芋の根やチューリップの球根など、

いつものように自家へ戻ると、震災以前に植えて残っていた山芋やチューリップなどの球根が狙われて掘り返されていることに気が付き、対策の必要性を肌で感じたそうでした。

経験を活かした「被害防除」

自宅の敷地は穴・穴・穴



経験と知恵を活用する

4年前に本宮市から北幾世橋に帰還しました。自宅敷地内で家庭菜園を行っています。

震災前に大根農家だった渡部さんは、「イノシシは人の声に敏感に反応するんだ」と、農家の時代の知識を紹介してくれました。



有害鳥獣の対策には地域の皆さん一人ひとりの力が必要です。

皆さんの鳥獣対策がありましたら、是非お話しをお聞かせください。



自作のラジオボックス

周農林水産課農林水産係
TEL 0240(34)0246

鳥獣被害は突然に



自分にできることから

南相馬市原町区に在住。
浪江町で仕事をしながら、川添にある自家の土地を管理しています。

「山芋の根やチューリップの球根など、仕事で知り合った農家さんから、山芋の根やチューリップの球根など、

いつものように自家へ戻ると、震災以前に植えて残っていた山芋やチューリップなどの球根が狙われて掘り返されていることに気が付き、対策の必要性を肌で感じたそうでした。

経験を活かした「被害防除」

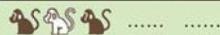
自宅の敷地は穴・穴・穴



経験と知恵を活用する

4年前に本宮市から北幾世橋に帰還しました。自宅敷地内で家庭菜園を行っています。

震災前に大根農家だった渡部さんは、「イノシシは人の声に敏感に反応するんだ」と、農家の時代の知識を紹介してくれました。



有害鳥獣の対策には地域の皆さん一人ひとりの力が必要です。

皆さんの鳥獣対策がありましたら、是非お話しをお聞かせください。



自作のラジオボックス

周農林水産課農林水産係
TEL 0240(34)0246